

日本盲教育史研究会第4回ミニ研修会 in 九州 ご案内

「ミニと冠するレベルを超えたもの」としてご好評を得てきたミニ研修会の第4回を北九州市で開催できる運びとなりました。

永続した盲学校として、大阪よりも西で最初に産声をあげた長崎盲啞院をはじめ、九州各県の盲教育史には個性的な経緯や取り組みで名を挙げた学校ばかりです。盲教育史、盲啞教育史の研究においても、長崎などに著名な研究者がいらっしやり、各盲学校史に関しても労作が数多く残されています。

今回は、九州の全体像に迫るとともに、福岡、長崎、熊本などの盲学校史などを掘り下げます。蓄積豊かな現地の「視覚障害教育史研究」活動から学ぶ絶好のチャンスとなるでしょう。

会場として、北九州市のJR黒崎駅直近の西部障害者福祉会館をお借りすることになりました。会場となる建物にビジネスホテルも併設されています。全国各地から、多数ご参加ください。九州全域からもお越しいただき、九州における盲教育史研究の新しく力強いネットワーク形成につながることも切望しています。

日時 2016年6月4日(土) 12:45~17:30

会場：北九州市立西部障害者福祉会館(501~503研修室) 電話番号 093-645-1300
〒806-0021 福岡県北九州市八幡西区黒崎3丁目15-3 コムシティ5階

日程及び内容

受付(12:15~)

開会(12:45~)

講演(13:00~14:30)

講師 長崎大学教授 平田勝政氏

講演題 「日本盲教育史研究の成果と課題」

発表(14:45~各30分)

- ① 明治期盲啞学校の支援組織に関する研究(仮) 長崎県立諫早特別支援学校・菅達也氏
- ② 九州と盲啞教育(仮) 日本社会事業大学・木下知威氏
- ③ 地方盲学校、聾学校の専門的教員の養成と補充 —昭和初期から昭和30年代の熊本県— 九州ルーテル学院大学・佐々木順二氏
- ④ 史料紹介(吉松政春「福岡県の盲教育の歴史」・岸博実「九州と京都盲啞院」)

意見交換(17:00~17:30)

懇親会(18:00~20:00) 《会費4,000円程度》

懇親会は、事前に出席希望をお知らせいただいた方のみご参加いただけます。

備考 ・普通文字、点字及び拡大文字の資料を準備し、手話通訳者を配置します。
・宿舎・切符・食事などは参加者各自でご用意の上、移動の安全にご留意下さい。

申し込み 日本盲教育史研究会事務局宛てに「氏名・住所・所属・電話番号・メールアドレス・使用文字・懇親会参加希望・その他の配慮希望」を明記して郵送もしくはメールでご提出ください。(締切：5月15日)

申込先 〒611-0013 京都府宇治市菟道丸山1-70

日本盲教育史研究会事務局 moshi.jimu@moshiken.org

主催 日本盲教育史研究会

地図 <http://www.com-city.jp/access.html>

※コムシティのウェブサイトでご確認ください。

アクセス説明

※JR黒崎駅西側の建物です。

JR黒崎駅の南口を出て西（右手、博多方面）へ進み、階段を上ってコムシティ3階正面玄関を入ります。

左手すぐの「東エレベーター（赤い扉）」は、ミニ研修会が行われる土曜日には会場の西部障害者福祉会館がある5階に止まりません。

点字ブロックに沿って中央通路を西へ53メートル進んで、左手にある「中央エレベーター（緑の扉）」で5階へお越してください。

★ JR黒崎駅については、本年3月5日に駅舎の一部変更がありました。

ミニ研修会開催予定日が近付いた時点での情報をJR九州のサイトなどでご確認ください。